

月例報告書 Janvier, 2025

CIEF,ブルゴーニュ大学
文化政策学部 国際文化学科 3年 佐藤 朱那

ガレット・デ・ロワ

みなさんこんにちは。1月20日にテストが終わり、現在バカンス中です！1月といえば、“Galette des Rois（ガレット・デ・ロワ）”です。1月6日はガレットを食べる日“Epiphany”（公現祭）です。しかし、ガレットは家族や友達、職場の人など様々な人と食べる機会があります。ですから、1月中はガレットを食べる機会がたくさんあるそうです。ガレットは通常、パイ生地にアーモンドクリームが入っていますが、南仏では、ガレットの代わりにブリオッシュが使われています。そして、中にはアーモンドクリームが入っておらず、ブリオッシュが砂糖でコーティングされ、グミのような砂糖菓子が載っています。ガレットを切り分けるときは、グループの中で最年少の人がテーブルの下に潜り、カットされたガレットを振り分けます。そして、ガレットの中に入っている“fève（フェーブ；陶器の人形）”を引いた人は、紙で作られた王冠をつけて王様、女王様として祝われます。私は、マルセイユに行った時にお祭りがやっていて、ブリオッシュバージョンのものも食べることができました！

フェーブとガレット

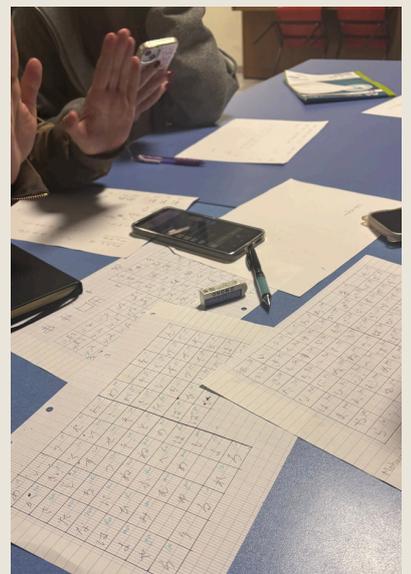


ブリオッシュver
と王冠

言語交換会

フランスに来てから授業のおかげでフランス語に触れる時間は圧倒的に増えたものの、フランス人と関わる時間はほとんどありませんでした。そこで、クラスの先生に相談をしたところ、日本語を学びたいフランス人はたくさんいるよ！彼らに声をかけてみたら？とアドバイスをもらいました。そこで私はまず日本人の友達に声をかけ、言語交換会を開催することにしました。ポスターを作成し大学の至る場所に貼りました。最初は人が集まるか心配でしたが、言語交換用に作った連絡先にたくさんのメッセージが届きました。2回言語交換会を開催しましたが、お互いの文化や生活、アニメについてなど様々なトピックについて話しました。約2時間の言語交換会の中で、何を話すべきか、どんなことをすれば有意義な時間が過ごせるのか最初は不安でしたが、今のところは2回とも時間が足りなくらい楽しい時間を過ごせました。これからもどんどんメンバーと関わる時間を増やしてお互いに成長できるように交流を深めていきたいです！

あいうえお表を
プレゼントしました。



南仏旅行

1月10日から12日の2泊3日でマルセイユとモンペリエに行きました。ディジョンではコート必須の寒さでしたが、マルセイユについてびっくり！コートを着ていられない暖かさでした。マルセイユに行く際、TGVが約1時間遅延しました。フランスでは、TGVが遅延した際、遅れた時間に応じてチケット代の何割かを返金してもらえます。フランスでTGVが遅延してしまった時は、忘れずに返金をお願いしてください。マルセイユはとても海が綺麗で、素敵な街でした。特に、島の上に立っている家の風景が映画に出てきそうな雰囲気でした！夜にはブイヤベースを食べました。とても高級と言われているブイヤベースを約20ユーロで食べることができました。ニンニクを削ってパンと一緒に食べるのですが、クセになる味でした。また、生牡蠣も食べました！日本の牡蠣はクリーミーでマルセイユの牡蠣はフレッシュという印象を受けました。3日間で生の魚介類をたくさん食べることができて幸せでした！

ウィーン旅行

1月25日から27日にオーストリア、ウィーンに一人旅に行きました。オーストリアといえばハプスブルク家！エリザベートです！！ハプスブルク家にまつわる聖地巡礼をしました！25日は日本に帰る友達と一緒に寮を出て、空港まで一緒に行きました。空港でお別れしてからは一人旅の始まりです。ドキドキしながら憧れのAir Franceに乗りました。ウィーンについてから夜ご飯を食べに行こうと思ったのですが、外に出るエネルギーがなく、早めに就寝し、2日目にザッハトルテの発祥と言われるカフェでザッハトルテを食べました。そして、ウィーン少年合唱団の歌を聴きに教会へ行きました。まさに天使の歌声！あんなにも美しい歌を聴けるなんて！最高の思い出ができました。その後Sisi Museumに行き、エリザベートの肖像画やドレスや、手紙を見ました。エリザベートのドレスを実際に見ることが夢だったので、感動しました。そして、ベルベデーレ宮殿と美術史美術館に行き、絵画鑑賞をしました。マリーアントワネットや、マルガリータ王女の絵を見ることができました。お昼にシュニッツェルを食べました。友達からすごく量が多いと聞いていましたが、実際に見てびっくり！大きいお皿からカツがはみ出していました！塩っ気が強くて美味しかったです。3日目は、シェーンブルン宮殿に行って、40部屋を回るツアーに参加しました。実際にエリザベートが使っていたものや、豪華な装飾、絵画を見ることができました。宮殿が開く前には庭園を散歩しました。春にはたくさんの花が咲いて綺麗と聞いていたので、暖かい時期にまた訪れたいです。

マルセイユ



ウィーン

